

# 紫峰

佛教大学教育後援会報「紫峰」

## 第120号

平成25年1月発行



開学100周年

佛教大学開学100周年記念サイト  
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/100th/>

## 佛教大学は開学100周年を迎えました



100周年記念パレード（平成24年5月20日）

### 目次

- 1 頁 ……佛教大学開学100周年記念式典・教育後援会発足60周年記念行事
- 3 頁 ……会長挨拶・教育懇談会開催報告
- 5 頁 ……ONE YEAR DIGEST 2012
- 7 頁 ……第46回鷹陵祭
- 9 頁 ……課外活動ダイジェスト
- 11 頁 ……大学事務局だより
- 19 頁 ……教員紹介・行事案内
- 23 頁 ……佛大カレンダー（1月～3月）



「ぶったん」公式サイト  
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/buttan/>

# 佛教大学開学 100 周年

平成 24 年 10 月 23 日 (火)、「佛教大学開学 100 周年記念式典・



記念式典入口



音楽法要



山極伸之学長による「佛大 Vision 2022」発表  
(佛教大学のホームページよりご覧になれます)

## ● 教育後援会発足60周年記念行事開催

平成24年  
10月13日(土)



佛教大学が開学 100 周年を迎えた 2012 年、教育後援会も前身の父兄会発足より数えて 60 周年を迎えました。

10 月 13 日 (土) 開催の教育懇談会【京都会場】では、教育懇談会プログラムの他に「記

念講演会」や「記念パーティー」なども行われ、多くの皆さまにお越しいただきました。

13 時より開催の教育懇談会「全体会」では、村上真瑞会長のご挨拶の後、「佛教大学の使命と役割」と題して、山極伸之学長による講話が行われ、開学 100 周年を迎える佛教大学の教育理念や果たすべき役割について報告がなされました。

その後、加藤みどりさんを講師に招き、『「家・人・家族」～アニメ「サザエさん」一家と核家族時代

に見る人間模様～』と題して記念講演を頂きました。

加藤さんの元気な声で会場はとても明るい雰囲気となり、人とのつながりや家族のあり方など、ご自身の体験を交えた温かみのあるお話に、参加された多くの皆さまから「感動した」「家族について考えさせられた」とのご意見をいただきました。



# 記念式典開催 ～感謝 ありがとう～

講演会」が紫野キャンパス鷹陵館メインホールにおいて盛大に開催されました。



ありがとうプロジェクト報告



学歌斉唱



鏡開きの様子（市内ホテルにて）



16時30分からは、教育後援会60周年記念パーティーが開催されました。当初のお申込み人数を超える多くの皆さまにご参加いただき、村上会長・山極学長の挨拶の後、小川副

会長の乾杯により、記念パーティーは盛大にスタートいたしました。

当日は、歴代の教育後援会役員の皆さまにもご参加いただき、当時教育後援会の担当をしていた教職員とその頃の話で盛り上がったり、60周年という節目を迎える教育後援会への思いなどが語られていました。

各学部からも多くの先生方にご出席いただき、

学科別懇談会とはまた違う雰囲気でも、参加された保護者の皆さまと懇親を深められている光景が各所で見られました。

改めまして、ご参加いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

教育後援会は、その目的を「大学と家庭との連絡を緊密にし、佛教大学の教育振興に寄与する」としております（会則第2条）。この度の発足60周年記念行事をきっかけに、多くの保護者の皆さまに教育後援会を知っていただき、わが子の通う大学を自分の母校のように思っただけの取り組みをこれからも続けて参ります。今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



# 佛教大学に受け継がれてきた心



教育後援会会長 村上 真瑞

新年あけましておめでとうございます。今年も旧年変わらずご指導たまわりますようよろしくお願いいたします。

昨年は、佛教大学開学100周年・教育後援会発足60周年の記念すべき年でありました。記念の行事や祝賀会など賑やかに開催され、多くの保護者の方々にご参加いただき誠に有難うございました。この栄えある年に教育後援会会長をつとめさせていただき諸行事が成満されたことは大変光栄なことであります。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

百年の間先輩方が築き上げ、それを発展させ受け継いできた人から人への血の通う伝達があったからこそ、百周年を迎える今、この様に佛教大学が堅実に発展してきているのです。佛教大学新百年の誓いとして、教育の目標が掲げられています。そこには、「仏教精神に根ざした人間教育により、寛容にして温和な気風を育み、学生一人ひとりの人間力をのばす。」と記されています。

佛教大学には、私が大学に在学していた時、そしてそのずっと以前の開学当時から受け継がれてきている、「寛容にして温和な気風」がありました。釈尊は、法句経に「実にこの世においては、怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの息むことがない。怨みをすててこそ息む。これは永遠の真理である。」と説かれています。また、佛教大学の建

学の精神の基である、法然上人は平安時代後期、九才の時、父の時国公は押領司（現代の警察長官）として現在の岡山県久米郡の治安維持に当たっていましたが、都から派遣されて来た莊園を監督する役人・明石源内武者定明によって夜襲をかけられ、そのため非業の最後を遂げられました。この時、深手を負った父時国公は、法然上人を枕元に呼び、次のように話されました。「敵を恨めばまた、敵の子供はお前を恨むだろう、このようにいつまでたっても恨みは消えることがない。どうかお前は、敵を恨む事無く、みんなが共に救われる道を探し、私の菩提を弔ってくれ。」と遺言して、亡くなられたのであります。仇討こそが武士の道であるとされた当時、父上のこの遺言は法然上人の人生を大きく変えさせたのであります。この父時国公の言葉も先の法句経の言葉もたとえ仇であってもその命を害することなく許すことのできる心は、釈尊のお説きになられた不殺生の心を強く伝えているものであります。これこそ「寛容にして温和な気風」というべき心ではないでしょうか。佛教大学は現代の生命軽視の風潮の中で、命の大切さや、自分に対して行われた痛みは、他人に対して仕返すことが問題の根本的な解決にならないことを学生の皆さんまた、保護者の皆さんの心に教育活動を通して、伝えていく使命があると思います。教育後援会は、佛教大学のそのような教育活動を外から援助していくことが目的であります。具体的には、入学時に会費を頂戴して、その収入によって学生の皆さん達の生活を支援したり、保護者の皆さんに大学での生活、学習環境、学習状況、就職情報などをお伝えしていくことをその事業内容としていたします。会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

# 教育懇談会開催報告

教育懇談会は、教育後援会の一大事業として、大学との共催により毎年開催しております。今年度の教育懇談会は、6月17日の福岡会場を皮切りに、11月11日姫路会場をもって無事終了いたしました。

平成25年度も、引き続き開催させていただきますので、ぜひお気軽にご参加ください。

## 【平成24年度 教育懇談会開催状況一覧】

開催日	開催地	会場	参加人数
6月17日(日)	福岡	福岡国際ホール	22名
6月24日(日)	福知山	ホテルロイヤルヒル福知山	26名
7月1日(日)	東京	グランドプリンスホテル新高輪	12名
7月7日(土)	京都	佛教大学	344名
7月8日(日)	津	津都ホテル	5名
7月15日(日)	金沢	金沢都ホテル	12名
10月7日(日)	松山	ホテルサンルートイン松山	17名
10月13日(土)	京都	佛教大学 (60周年記念行事開催)	239名
10月14日(日)	米子	ホテルハーベストイン米子	13名
10月28日(日)	広島	広島グランドインテリジェントホテル	24名
11月11日(日)	姫路	姫路キャッスルホテル	25名
合計			739名

## 来年は1000人のご参加を!!

大学開学100周年、そして教育後援会も父兄会発足より数えて60年の節目を迎える今年度、記念講演会および記念パーティーを組み込んだ特別企画の教育懇談会を秋学期の本学会場において開催いたしました。多くの皆様にご参加いただき、またお祝いただきましたことに心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、60周年記念教育懇談会に参加された方々からは「このような特別企画も行って欲しい」というお声を多く頂戴しました。また、例年の教育懇談会とは異なり、当日に仲良くなられたお母さん同士で「ちょっとお茶でも」と誘い合って楽しそうに帰っていかれる姿が目立ちました。

全体を通しては、「堅苦しい会だと思って敬遠していたけれど、とても楽しかった。次回も参加します。」「他の保護者の方々(特に上回生)のお話がとても参考になった。親子の会話に活かしたい。」「4回生で初参加。1回生の時から参加すれば良かった。」などのお言葉を初めて参加された方々から多くいただきました。地方会場は、少規模ならではのアットホームで和やかな雰囲気の開催でした。

60周年を機に教育懇談会開催当時の『父兄会報』(昭和

57年3月発行)を読み返しますと、そこには「懇談の会場がさらに増加し、参加者が全父兄の3割を超えたときに、この懇談会が定着したといえるでしょう」とありました。3割参加を現在にあてはめると約1900人。今年の参加者は過去最高の739人でしたが、まだまだハードルは高いといえます。

教育懇談会開催にあたっては、「参加して良かった」と一人でも多くの皆様に感じていただきたいと願っています。そのためには、親同士あるいは教職員と情報交換をし、楽しく集っていただくことが一番大切であると考えております。

教育懇談会の内容は、参加された方々からのアンケートや当日の教職員へのお声かけなどにより役員会で検討しています。今からでも忌憚なきご意見をお寄せいただければ幸いです。

来年度の開催予定は、4月中旬にホームページ上でお知らせする予定です。勝手ながら、来年度は「参加者1,000人!」を目標として、ぜひともご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご参加をお待ちしております。

教育後援会事務局(校友会事務局課長 平尾浩美)

# BUKKYO UNIVERSITY ONE YEAR DIGEST 2012



新入生歓迎祭「紫櫻祭」(4月1日～6日)



新入生歓迎祭「紫櫻祭」



禁煙キャンペーン (5月31日)



禁煙キャンペーン



新入生歓迎祭「紫櫻祭」



新入生歓迎祭「紫櫻祭」



第3回全学まちピカ☆大作戦



第3回全学まちピカ☆大作戦



新入生歓迎祭「紫櫻祭」



第3回全学まちピカ☆大作戦 (6月17日)



100周年記念パレード (5月20日)



100周年記念パレード



100周年記念パレード



東日本大震災救済金 (100周年記念パレード内で実施)  
111,557円 (5月28日京都新聞社会福祉事業団へ)



100周年記念パレード



中庭法然上人像前法要



写経会



企業説明会



留学生交流会 (6月5日)



第21回留学生スピーチコンテスト (11月14日)



短期海外語学研修 (BULA)



短期海外語学研修 (韓国)



中国語研修



留学生研修旅行



制作・美術部

ホームカミングデー (11月3日)



美山大野ダムさくら祭り



農業体験



モデルフォレスト下草刈



きたの夏まつり



カフェ実習



美山クリーンリバー



ホームカミングデー



ホームカミングデー



北区街頭啓発活動



モデルフォレストしいたけ原木切り



美山ふるさと祭



佛大アルバム  
平成24年度  
第46回  
鷹陵祭



テーマ

『100周年～新たな1ページ～』

期間:平成24年10月31日(水)～11月3日(土)

佛教大学における年に一度の大イベント「鷹陵祭」が紫野キャンパスにて開催され、キャンパス内は、模擬店のみならず、教室内での企画や中庭ステージ企画等大変賑わいました。また恒例の吉本お笑いライブや豪華アーティスト（乃木坂46）によるライブも行われ、どの企画も大盛況のうちに終わることができました。最終日には、卒業生との交流を図るホームカミングデーも開催され、たくさんの方々に鷹陵祭に参加いただくことができました。

今年は1号館建設工事に伴い中庭での活動が規制され、キャンパス内が昨年より、鷹陵祭を開催するにあたっては厳しい環境となりましたが、より良いお祭りができるよう鷹陵祭実行委員会で知恵を出し合い、盛り上げるための方法を考え、昨年以上に教職員と学生の連絡を密にしながら準備に取り掛かった結果、前夜祭（10/31）を含めた4日間を見事に大成功へと導いてくれました。最後になりましたが鷹陵祭にご協力、ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。



鷹陵祭実行委員長  
堀内 聖子 (臨床心理学科3回生)

今年度の第46回鷹陵祭も、皆様のご協力により無事終了することが出来ました。日中は時折雨模様も見られましたが、来場者様もご参加いただいた団体の方も大変楽しんでいただける鷹陵祭になったかと思われ  
ます。

今年度のテーマは「100周年～新たな1ページ～」でした。今年は佛教大学開学100周年という節目であり、その節目にふさわしい学園祭であるとともに、私たちがまた新たな歴史を作っていくという気持ちを含めてこのテーマに決定いたしました。また百の「∞(インフィニティ)」には、「一人一人の無限の力」という意味も込められてい  
ます。

新たな1ページはまだ始まったばかりです。来年度も引き続き、歴史に残るような佛教大学の一年になることを期待しつつ、実行委員長のあいさつとさせていただきます。最後になりましたが、ご尽力いただいた皆様ありがとうございました。

# 課外活動ダイジェスト

## スポーツ偉大

総合成績2位 2'07"10

- 1区 (5.8km) 18'31"  
前田 彩里 (現社・3)
- 2区 (6.8km) 22'06"  
竹地 志帆 (社福・4)
- 3区 (9.1km) 30'05"  
森 知奈美 (英米・4)
- 4区 (4.9km) 15'49" 区間賞  
森原 彩 (教育・2)
- 5区 (4.0km) 13'14" 区間賞  
竹上 千咲 (中国・3)
- 6区 (3.0km) 27'25"  
小川 智香 (現社・4)



ご声援  
ありがとうございました!

第30回全日本大学女子駅伝対校選手権大会  
感謝の気持ちで走りぬいた杜の都  
次につながる2位!!

佛教大学陸上競技部女子中長距離部門は、10月28日(日)、仙台市で開催された第30回全日本大学女子駅伝対校選手権大会に、チーム一丸となって優勝を目指しました。その結果、優勝こそ逃したものの、昨年に引き続き見事準優勝という輝かしい成績を収めました。



区間賞2名を出す意地の走り  
12時10分、天候が心配される中、最終とともに第1区を任せられた前田(現社3)が走り出す。前田はレース序盤から先頭集団で走れを作ると、ラストスパートで先頭と1秒差となる2位で棒をつないだ。棒を受けた第2区のキャプテン竹地(社福4)は、前を走る中央大学をすぐさま抜くと一気に関賞をつか。先頭に立つ。しかし、ライバル立命館大学の猛追で抜かれ、8秒差で第3区(森(英米4))へ。森は本大会において過去3年区間賞を受賞しており、4年連続の区間賞に挑む。序盤から積極的な走りで行進を必死に追うが、主導権を握る立命館大学に追いつくことができないまま、第4区へ。第4区の森原(教育2)は、区間賞の走りでも強大の意地をみせ、チームを引っ上げる。棒を受けた第5区の竹上(中国3)も同じく区間賞の走りを目指す。第5区の小川(現社4)へ優勝の望みを託す。小川は今大会初出場でアンカーに決まると、先頭と16秒差まで追いつける快進撃をみせる。立命館大学の追は厚く、2位でゴールテープを切った。悔しさを残す結果となった大会であったが、全選手が力を出し切ったレースであったのではないだろうか。たかごを一年生こそは優勝を!! という決意が現れた瞬間ある準備があった。

学生支援部発行「スポーツ偉大」より

## 課外活動団体の活動報告

### ◆体育会

団体名	大会名	試合結果
空手道部	第56回全日本大学空手道選手権大会	出場
空手道部	第56回全日本学生空手道選手権大会並びに東西対抗戦	出場 高山栄次 中川葵
弓道部	第24回全国弓道選抜大会	出場(女子)
弓道部	第55回関西学生弓道選手権大会	団体の部 優勝(女子) 個人の部 優勝 高島早紀
弓道部	関西学生弓道連盟平成24年度女子リーグ戦	2部Aブロック優勝
弓道部	第60回全日本学生弓道選手権大会	ベスト8(女子)
剣道部	第60回全日本剣道優勝大会	出場
剣道部	第31回全日本女子剣道優勝大会	出場
太道部	2012全日本太道選手権大会	出場
太道部	第20回太道学生選手権大会	特別賞 三島祐介
陸上競技部	2012日本学生陸上競技個人選手権大会	準決勝進出 久保理英 400mH
陸上競技部	天皇賜盃第81回日本学生陸上競技対校選手権大会	出場 久保理英 400mH
軟式野球部	近畿軟式野球連盟平成24年度秋季リーグ戦	優勝
軟式野球部	第29回西日本大学軟式野球選手権大会	3位

### ◆報道本部

団体名	イベント	開催日	結果
放送局	大学対抗実況コンテスト	6/23	優秀賞

### ◆文化会

団体名	イベント名	開催日	会場	備考
書道部	第43回学外展	7/7~7/8	建仁寺西来院	
書道部	第17回全日本高校・大学書道展	8/21~8/26	大阪市立美術館	大賞受賞 堀井紫帆
混声合唱団	第43回定期演奏会	12/2	京都アスニー	
箏曲部	第30回学外定期演奏会	11/30	ウイングス京都	
JAZZ倶楽部	京都5大学合同ライブ	7/13	京都大学西部講堂	
美術部	京都九大学合同美術展覧会	9/11~9/13	みやこめっせ	

### ◆応援團

団体名	イベント名	開催日	会場	結果
チアリーダー部	JAPAN CUP 2012 チアリーディング日本選手権大会	8/24~8/26	国立代々木競技場	フライデートーナメント出場
吹奏楽部	第49回関西吹奏楽 コンクール京都府予選	8/8	京都コンサートホール	銀賞受賞
吹奏楽部	第34回定期演奏会	11/30	京都こども文化会館	

### ◆サークル

団体名	イベント	日程	会場	結果
よさこいサークル 紫踊屋	第14回ござれGO-SHU!	9/29	滋賀県甲賀市	読売新聞社賞受賞

第28回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会にて特別賞を受賞

尾松 葉月さん (日本文学科2回生)

「公募・大学毛筆の部」(12,177点)の中から第二席(同席2名)に選ばれ、「産経新聞社賞」を受賞。「無量義経徳行品第一」を繊細なタッチで表現しました。さらに本学からは約40名が出品し、「日本武道館賞」に5名、大会奨励賞に9名が入賞しました。

第48回全日本書初め大展覧会にて読売新聞社賞を受賞

山本 千晶さん (日本文学科3回生)

応募総数15,144点の中から「読売新聞社賞」を受賞。この賞は応募者の上位2%の者が受賞できる特別賞です。さらに本学からは約70名が応募し、「日本武道館賞」に9名が入賞しました。

# 大学公認課外活動団体一覧

各委員会	劇団「紫」	ボウリング部	競技かるた部
中央執行委員会	漫画研究会	ヨット部	日本の歴史巡り隊
代議員会	ユネスコ研究会	アイススケート部	ボランティアサークル「しゃいぼん」
生協設立準備委員会（休会中）	旅研究会～ホワイトマップス～	軟式野球部	星空研究会
アルバム委員会（休会中）	ジャズ倶楽部	ラクロス部	EPISODE ONE
オリター制導入推進委員会（休会中）	文芸部	応援團本部所属団体	佛科大学 お笑いサークル SHOWCASE
鷹陵祭実行委員会	雅楽会	応援團	競技麻雀同好会
紫櫻祭実行委員会	体育会本部所属団体	吹奏楽部	無所属公認団体（体育系）
会計監査委員会	硬式野球部	チアリーダー部	ソフトボール愛好会
選挙管理委員会	空手道部	報道本部所属団体	水泳愛好会「スイート・メモリーズ」
文化会本部所属団体	弓道部	新聞局	アメフト同好会「ボールバニアン」
傳道部	バドミントン部	放送局	バレーボール愛好会 鷹陵倶楽部
児童教化研究部	剣道部	無所属公認団体（文化系）	テニスサークル SPLASH
書道部	柔道部	児童文化活動グループ「どんぐり」	サッカー愛好会
混声合唱団	山岳部（休会中）	民俗学研究会	バドミントン愛好会 シャトラーズ
茶道部	ワンダーフォーゲル部	京都散策会「Smile」	バスケット同好会 BREAK THROUGH
華道部	スキー部	Music Freedom Crea	軟式野球同好会 WILD BOYS
社会福祉研究会	太道部	わんぱくグループ「どろんこ」	ソフトテニスサークル ヒーター
写真研究会	少林寺拳法部	オールディーズ愛好会	ラグビー同好会 GUARDIANS
軽音楽部	サッカー部	スカウト研究会	プロレス・格闘技研究会
アマチュア無線クラブ	ソフトテニス部	レクリエーション研究会	ベタク同好会 "Honens"
ボランティア研究会	合気道部	スポーツ研究会「Mint Club」	DanceCompany 新進力
学生歴史学研究会	アメリカンフットボール部	学生指導員サークル「ガリバー」	Ultimate
セツメント研究会	バレーボール部	クッキングパーティー	ウエイトリフティング部
美術部	バスケットボール部	BBS会	フットサルサ<Pit Bull>
映画部	ラグビーフットボール部	よさこいサークル 紫踊屋	クロバースポーツクラブ
フォークソング部	陸上競技部	憲法を考える会「青い空」	ダブルダッチサークル 佛跳
箏曲部	卓球部	シンガーソングライター	
点訳サークル	硬式庭球部	美山研究会	
手話サークル「なまけもの」	ハンドボール部	クリエイターサークル 青春部	

課外活動団体（2012年11月1日現在）



アメリカンフットボール部



サッカー部



ダブルダッチサークル



チアリーダー部



バレーボール部



ハンドボール部



よさこいサークル



ラクロス部



映画部



雅楽部



弓道部



劇団紫



剣道部



硬式庭球部



硬式野球部



混声合唱団



写真研究会



柔道部



茶道部



軟式野球部



美術部



放送局



陸上競技部



箏曲部

## 酒づくりプロジェクト 進行中



田植え



草取り



ラベルデザイン案アンケート



酒蔵見学



収穫



招徳酒造蔵開きイベント

## 卒業しても頑張る佛大生

### ●木崎良子さん（平成20年3月社会福祉学科卒業）

在学中は陸上競技部女子中長距離部門に入部し、全日本大学女子駅伝対校選手権大会で初の準優勝を果たした際の主将でもあった木崎さん。卒業後は、実業団のダイハツ工業陸上競技部に所属し、第3回横浜国際女子マラソン大会でマラソン初優勝を果たし、ロンドンオリンピック女子マラソン日本代表に選出されました。結果は日本人最高位の16位（2時間27分16秒）。残念ながらメダル獲得はなりませんでしたが、大学では当日（8/5）、パブリックビューイング会場が設けられ、応援團本部が主導して、約180名の学生、教職員、同窓生の方々がエールを送りました。

### ●河野秀数さん（平成22年3月現代社会学科卒業）

2012年10月のプロ野球ドラフト会議において、河野秀数さんが北海道日本ハムファイターズにドラフト7位で指名されました。河野さんは在学中、硬式野球部で投手として活躍され、卒業後は社会人野球の新日鐵住金広畑硬式野球部に所属しておられました。今後の活躍が期待されます。

### ●大野雄大さん（平成23年3月現代社会学科卒業）

プロ2年目となった2012年は、一軍での試合出場回数も増えました。来季の更なる飛躍を期待しましょう。

# 学生支援機構の発足に際して

学生支援機構長 西川 利文



2012年4月の事務機構・教育組織の改革に伴い、旧来の教学部・学生部・キャリア支援部、そして3つの実習センターを再編して、学生支援機構が発足しました。これは、山極学長が常々申しております「大学の主役である学生が活き活きとキャンパスライフを送ることのできる大学の創造」を具体化するため、学生対応のフロント部署のワンストップ化を目指した組織であり、学修（実習を含む）・生活全般・進路就職といった、学生諸君の入学から卒業までの支援をトータルに担当します。教育懇談会で事務局として各種相談にあたる各部署が、一つになったものとイメージしていただければ、わかりやすいかもしれません。

このように各種の学生対応部署が1つになったのを機に、各課の連携を従来よりも強め、学生サービスの一層の充実に努めたいと考えます。具体的には、学生一人ひとりのニーズに応じた迅速かつ確実な情報提供と、丁寧かつ的確な対応が最も重要だと考えています。

ただ大学という組織は、高校までのようにクラスルームやクラス担任が存在しないので、一人ひとりの学生を十全に把握できる体制にはなっておりません。例えば、教育懇談会などで、個々の学生の授業の出席状況や学修状況のお問い合わせがありますが、これなどは即答できない内容です。

ただ最近では、学修状況や授業出席状況が芳しくない学生については、学部・学科あるいは課外活動団体顧問等に対応をお願いし、学修の再活性化を試みております。しかし通常の学生生活を送っている学生については、ゼミ教員を通じて把握してはおりますが、大学として個々の状況を十分に把握しているわけではなく、今後、学修カルテやポートフォリオなどを通じて、個々の学修（正課外の活動を含む）の履歴を把握していくようにしたいと考えています（当然、個人情報管理は厳

密に行います）。

いずれにしても、大学のみで個々の学生を把握していくのには限界があります。そこで、ご家庭においても、お子様との会話等を通じて、コミュニケーションをとっていただければ幸いです。常日頃あまり会話をする機会がないというお話を、教育懇談会でお伺いすることがありますが、成績表が送られてきた機会などに、それを話題に大学での生活をお聞きいただければと思います（ただし、詰問的な内容にならないようにお願いします）。

大学生は本来、社会人として独立・自立した存在として対応すべきだと考えます。しかし、ちょっとした躓き（それには様々なものがあります）によって、大学生活に不適應を起こす学生が増えてきております。それを少しでも未然に防ぐため、大学と家庭とが連携して学生を支援していくことも必要だと思います。そのために、教育懇談会などを通じて大学の現況等を発信していきますので、保護者の皆様におかれましても、ご協力をお願いいたします。

最後に、現在本学ではキャンパスリニューアル工事で、普段でも狭隘なキャンパスが一層狭隘になっております。このような環境の中でも、学生諸君に少しでも快適にキャンパスライフを過ごしてもらうための「居場所」の確保に努力しております。この「居場所」には、物理的な空間だけではなく、精神的な「居場所」も含んでおります。この充実も目指していきますので、教育後援会のご支援も賜れば幸いです。



## 「学生支援部から保護者の皆様へのメッセージ」

2012年度に開催された教育懇談会、日常の窓口業務における問い合わせ等を受けて、教務課・学生支援課・進路就職課の3課よりのメッセージです。

### 「教育懇談会では」

教務課では、教育懇談会にお越しいただいた方から、履修に関する事（卒業に必要な単位が取得できているか、資格や教員免許状を取得するのに必要な単位が取得できているか、きちんと授業に出席しているか等々）の質問を多くお受けします。

教育懇談会において、個別面談を希望される方へ、教務課からお願いがあります。お申込みの際に、相談内容について具体的にご記入いただきたいのです。ご質問いただく内容によっては、事前にお調べしないとお答えができないものもあり、準備が不十分な場合、せっかくお越しいただいても十分な回答ができないこともあります。お聞きになりたい質問について、具体的、詳細に、相談内容をご記入いただきますようよろしくお願いいたします。

最後によく質問を受ける履修状況表に記載されている評価の(N)の意味について、書かせていただきます。Nの「評価対象外」とは、通常、出席日数不足を示します。参考になさってください。

〈教務課長補佐 伊東〉

### 「大学生なんだから…」

20年前の新卒当時、私が配属された学生課は現在とは比較にならないほど制約が多く、自立や権利を謳う学生の声との板挟みの日々。

今年久々の学生支援課（学生課より名称変更）は、業務そのものはほぼ同様ながら、学生や保護者の声、学生生活を取り巻く背景の大きな変化を感じます。大学が提供するサービスは、丁寧かつ柔軟さを増していますが、学生はそれらを受け流しつつ都合良く使い分けている印象。日常の衣食住は一見豊かそうですが、根本的な経済状況はより深刻に。社会活動への期待や評価が高まる反面、実生活ではマナーやモラル低下への批判が強まる一方…

そこで表題の台詞。多様な解釈が可能ですが、その幅が様々なボタンのかけ違いを生んでいるようです。次代を担う世代にいかにして大切な事を伝えていくのか、我々も常に価値観の眼鏡をかけ直しながら考えていく必要があります。その声かけ働きかけは、この今にしか、してあげられないものですから。

〈学生支援課長補佐 山下〉

### 「温かく見守る安心感」

進路就職課では、時期や分野（企業・公務員・教員・福祉・医療など）に応じた「ガイダンス」や「セミナー」を開催し、各種就職試験対策講座や資格取得を目的とした講座も開講しています。「ガイダンス」や「セミナー」に参加していただくことにより、「今、何をすべきか」「どのように就職活動を進めるのか」といった就職に関する情報を学生のみなさんにお伝えしています。

また、キャリア・アドバイザー制度があり、8名の経験豊富な各業界出身アドバイザーが学生の進路や状況に応じた個別面談をしています。

就職活動は、低学年から卒業後の進路について考え、正課の授業に加えてそれを意識した準備（業界研究・企業研究・自己分析・筆記試験対策など）が自己実現へのカギとなっています。

保護者の皆様には、その準備の第一歩として進路就職課に足を運ぶようにお声掛けをお願いします。そして日頃から学生とコミュニケーションを密にし、より身近な社会人としてのアドバイスと「温かく見守っている」という安心感をそそいでいただきますようお願いいたします。

〈進路就職課長補佐 長田〉



第2食堂（5号館地下1階）  
一番人気メニューは、「チキン照りマヨ丼」（350円）

# 企業インターンシップでの学生の成長を実感する

教育推進機構長 岡崎 祐司

教育推進機構は2012年度の事務機構改革にともない、教育開発、カリキュラム運営、FD（授業改善）、宗教情操教育、国際交流などを担当する機構として発足しました。学生支援機構が学生に直接対応するフロントラインだとすると、本機構はバックヤードの役割を果たします。また、今日のニーズに応じた教育を行うため、学生支援機構と連携した取り組みも積極的に行います。その一つがキャリア教育ですが、なかでも重要なのがインターンシップです。

2012年度の企業インターンシップは、両機構の連携と教職協働で実施しました。その内容は、エントリーした学生に対して①職員によるビジネスマナーに関する事前指導、②教員・職員による個別面接、③教員・職員による実習先訪問、④ワークショップ方式での事後研修（教員）と報告会報告者へのプレゼンテーション指導（職員）を行い、また⑤学生主体による報告書作成と報告会を実施しました。2012年は60名強の学生が企業インターンシップに臨みましたが、それぞれの学生が主体的に職業世界に飛び込み、社会で働くことの厳しさと意義をつかみました。事後研修ではインターンシップを振り返り、自分の力量や獲得できたこと、これからの成長課題を進路就職の見通しとかかわらせて客観的に評価するよう仕向けました。学生は、それらをしっかりつかみ共有していました。事後研修を指導しながら、主体性や実行力、自己認識の点での学生の成長を強く感じました。また実践的教育の効果も強く感じました。

大学でのキャリア教育は、職業世界と学生をつなぎ、持続性と見通しのある学生のキャリア推進力を育成する教育活動です。それは特別なことではなく、今日の大学教育全体のねらいでもあります。学生には、共通科目や専門基礎科目による教養教育、学部学科の専門教育を通して考える力、

論理性、文章力、表現力、粘り強く取り組む継続力を身につけ、またクラブ・サークルなど課外活動を通して、集団を運営する力や多様

な人との関係性を結ぶ力を身につけてほしいと考えています。これらの日々の学修と活動をベースに、学んできたこと・経験してきたことを統合し、意識的に職業世界へとつなげるのがキャリア教育です。普段の学修をおろそかにしたままで、「特別に」インターンシップにいったからといって就職活動に有利になるものではありません。

このことは、教育、社会福祉、保健医療といった学部だけにあてはまることなく、特定の職業世界には直結していない学部で学ぶ学生にも共通することです。いやむしろ、後者の学部で学ぶ学生にこそ、強く求められることだといってもよいでしょう。大学で何を学び、何をつかみ、何を目指しているのかを説明することが、まず進路就職で採用側から求められることを認識しなければなりません。

また卒業年次の就職活動だけではなく、その後も持続する自己のキャリア推進の力量の形成のためにも、大学のキャリア教育のいっそうの充実が求められています。その意味では、学生だけではなく教育推進機構、学生支援機構の連携をいっそう強化し、大学教育全体のなかでキャリア教育をしっかりと位置付け、推進することが求められていると認識しております。ご家庭でも、キャリア系科目を積極的に履修するよう学生の背中を後押ししていただければ幸いです。



# これからの「キャリア」を考えよう

教育推進部長 松尾 俊秀

## 1 はじめに

『これからの「キャリア」を考えよう』という言葉には《我と向き合う》ことを真意の一つとして含ませています。私たちが生きていくには、どんな時も我という軸がぶれないようにすることが重要だからです。

さて、2012年度の教育懇談会で、私は次の3点を中心にお願いや説明をいたしました。

- ①大学生を取り巻く現実
- ②大学生活とキャリア形成と就職活動
- ③支援

直接、会場で聞いてくださった皆様にとっては繰り返しになりますが、出会えていない方の数が圧倒的に多く、この場を借りて改めてお願いや説明をいたします。

なお、紙面の都合上、非常に端折った内容となることを予めご容赦ください。

## 2 大学生を取り巻く現実

この項目では、グローバル化と少子高齢化というキーワードから学生を取り巻く社会の実情を見えています。グローバル化がもたらしたひとつの現象は、能力主義と低賃金競争という《社会の二極化》であり、少子高齢化がもたらしたひとつの現象は大学全入という《大学ユニバーサル化》です。特に《大学ユニバーサル化》は、さらに次の現象をももたらしています。

- ①毎年全国で大学に入学する数は、60～61万人
- ②毎年全国で大学を卒業する数は、54～55万人

※昭和時代には40万人に達していない。

しかし、大卒を求めるマーケットは、昭和55年頃以降平均で約30万人というのは変わっていません。つまり、現代は30万席という就職の椅子を54～55万人が一斉に求めているという、競争相手が多い時代と言えます。

一方で、《大学生は価値ある存在》とされ、求められている現象には、なんら変化はありません。しかし、大学生には変化が見られます。その変化とは、やりたいことしかなかった大学生が増えているということです。かつての大学生も、やりたいことをしていたのは事実ですが、それは、なすべきことをした後といった具合でした。現在では、なすべきことが脇に置かれ、やりたいことにだけ走っている現象が強くなっています。そこに「大学生は《やりたいこと》に走り、社会は《なすべきことをなす人》を求める」という対極が生まれています。そして、この《やりたいことしかない》は、社会現象ともなっている離職率と結びついていると私は考えています。

さて、大学生活において、大学生の《なすべきこと》とは何でしょうか？

## 3 大学生活とキャリア形成と就職活動

この項目では、キャリアというキーワードから、大学生活（特に授業）とキャリア形成がどのような関連があるのか、また、大学生活で自らに培う力と就職活動がどのような関連があるのかを見えています。

まず、キャリア（career）という言葉ですが、現在は「個人の生涯に通じた職業選択に関する活動・心構え、または、個人の生涯に通じた仕事に関する生き方のプロセス」という意味で使用されています。そして、私たちが知的に・身体的に・情緒



的に・社会的に成長・発達していくのと同様に、キャリアも各個人の成長・発達に応じて成長・発達していくものです。つまり、キャリアは人の一生と同居しているものであり、人生そのものを指し示すとしても過言ではありません。このように理解しますと、キャリアは一時的や突発的、突然に成長・発達するものではなく、自分の成長・発達にあわせて、コツコツと成長・発達していく（またはさせていく）ものであることも理解できます。積み重ねが大切であるのも理解できます。私たちは、母の胎内から誕生してもすぐに歩くことはできませんし、言葉を使うこともできません。ひとりで食べることもできません。人間は成長ということにおいては、とても時間のかかる動物です。キャリアを人生そのものと捉えたとき、それが成長・発達するのに時間がかかり、積み重ねが必要であるということが容易に理解できます。しかし、辛辣な表現が許されるならば、この積み重ねがなければならぬということに目を向けず、短時間の講座等だけで、ある日突然爆発的に成長・発達するものだと思い、日常生活を蔑ろにしている大学生が多いのです。

「授業で得るものが多い」という言葉があります。この言葉は、内定を手にする大学生が共通して口にする言葉です。

**授業に欠席や遅刻をせずにきちんと出席し、授業中に要点をノートにとる。自宅に帰ってからノートを整理する。課題のレポートを期日までにきちんと提出し、ゼミでは積極的に発言する。試験に向けてきちんと勉強する。**

これは、ごく一般的な学生生活ですが、この中で「時間管理能力、コミュニケーション能力、実行力、企画力、計画力、論証力、実践力」などを身につけることができますと言います。専門的な知識の修得にとどまらず、自分なりの目的を立てて（自律サイクル）授業を受けることにより、様々な力を身につけることができますと言います。大学生活において、大学生の《なすべきこと》の授業を

うまく活用し、自らを高めたひとつの結果が「内定を得る」に結びついていると指摘できます。

もうひとつ、この場で付け加えたいことがあります。それは、「個性」という言葉です。しばしば使われるのに、意味を聞かれると説明しづらい語でもあります。個性を伸ばす、個性を育むなどと言いますが、さて、個性とは何でしょうか。現在の大学生は《子どもの個性を大切にする、伸ばす》という教育環境を経ているはずですが、「他者と同じでない」と不安、他者と同じがいい」という感覚が逆に強いのではないかと感じます。個性を伸ばすと他者から相手にされないという恐れを持っているようにも感じることがあります。夏目漱石の『草枕』に、次のような部分があります。

汽車ほど二十世紀の文明を代表するものはあるまい。何百と云う人間を同じ箱へ詰めて轟と通る。情け容赦はない。詰め込まれた人間は皆同程度の速力で、同一の停車場へとまってそうして、同様に蒸（じょうき）の恩沢に浴さねばならぬ。人は汽車へ乗ると云う。余は積み込まれると云う。人は汽車で行くと云う。余は運搬されると云う。

（『草枕』13より、傍点筆者）

この部分は、うまい言葉が見つかりませんが、現在の大学生に通じることだと感じています。私たちの時代と違い、個性を大切にする教育を受けてきたにも関わらず、なぜか他者と同じであることを求める気持ちが強く、自らの個性を閉じ込めている。文中の《余》になれとは言いませんが、自分をしっかりと持って欲しいものです。

また、何かにつけて点数を気にしすぎるところがあります。一例として、学生から相談された際の「このエントリーシートでとおりますか」という言葉が端的だと思います。確かに、エントリーシートは通過したいものです。しかし、第一は、「この書き方は、自分の言いたいことを全て出しており、相手に確実に伝わるものか」というところに重さがあります。そして、第二に、通るかどうか



は採点者の視点等に訴えることができ、相手の意向と合致するかどうかということがポイントとなります。第一ができていないと第二につながらないのです。「どうすれば点が取れるか」の方法論に走るような、つまり、《評価の檻》のようなものに閉じ込められているように感じます。

これらの感覚から脱皮し成長する足がかりも大学の授業にはあります。イソップ童話「ウサギとカメ」のカメではありませんが、自分のゴールをしっかりと見て、努力を惜しまない自己を創り上げなければなりません。現在のキャリア形成は、《決めるから作り上げる》へと変化していますが、その意味は、このあたりとも共通しています。

さて、大学生活（特に授業）をどのように活用しているのでしょうか？

#### 4 支援

この項目では、支援の具体的なことについて見ます。どの大学も《支援》という言葉を使いますが、決して私たち大学だけでは支援は成し得ません。保護者の皆様の支援が必要であり、私は保護者の皆様・大学教員、そして我々大学事務職員による《三位一体の支援》をお願いしています。そして、支援というものを具体的に言葉で表し、定式化するならば、次の《3つの問いかけ》に凝縮できると私は考えています。

- ①あなたが成すべきものの助けになるものとして、私は何を行っているか。
- ②あなたが成すべきものの邪魔になるものとして、私は何を行っているか。
- ③私が最善を尽くせるために、あなたは何かを行うか。

私たちは、一律的な支援は制度という形で行うことができますが、個々に応じた支援は、学生と出会えないとできません。学生と出会うためには、「学生が事務局を訪れ相談をする」ことが必要となります。教育懇談会の場をお願いいたしましたよ

うに、どんな些細なことでも結構です、「困ったことがあれば事務局へ行け」とお口添えくだされば幸甚です。どの事務局へ行けばよいか判断に苦しんだ場合、「教育推進部の松尾のところに行け」とお口添えくださって結構です。私たちに学生と出会う機会を設けることができるのは、保護者の皆様のお口添え以外にありません。そして、私たちが支援するには、学生の③が必要であるのも言うまでもありません。

さて、私たちがひとりでも多くの学生と出会えるようにご尽力賜われないでしょうか？

#### 5 おわりに

日々の生活をとおして礼儀作法等を身につけておかなければ、社会人・大人として通用しないということは、保護者の皆様のご承知のとおりです。改めて言うまでもありませんが、私たちは学生の皆様に対して深い愛情を持って接しています。だからこそ、時として厳しく指導することもあり、誤解が生じることもあります。相互理解、相互協力のもとに最善を尽くしたいと考えています。大学のこれらの思いをご理解いただき、学生一人ひとりのために、今後、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願いいたします。

最後に、限りある紙面ですので、京都会場でのみ実施している《就職特別講座》の内容は割愛せざるを得ないことをお詫び申し上げます。また、十分意を尽くしているとも言えませんが、『これからの「キャリア」を考えよう』と呼びかけて筆を擱くことにします。



教育懇談会 風景



## ◆◆平成24年度宗教行事紹介 宗教情操行事◆◆

佛教大学で送る学生生活の中で宗教情操行事に心と身体で触れ、現在そして将来と、意義ある日々を送られるようお願いしております。

### ◆◆新入生知恩院（祖山）参拝◆◆

4月4日（水）、毎年恒例の新入生祖山参拝では、新入生一同で浄土宗総本山知恩院へ参拝いたしました。本学混声合唱団ならびにチアリーダー部の協力により音楽法要を盛大に実施し、日常と異なる雰囲気の中での講話に耳を傾けました。新入生約1450名が参加いたしました。



しゃくそんごうたん え

### ◆◆釈尊降誕会・法然上人誕生会◆◆

4月6日（金）、お釈迦さまと法然上人のご誕生をお祝いし、導師を山極伸之学長、脇導師に林俊光宗教教育センター長のもと、鷹陵館に於いて音楽法要を実施いたしました。

開式前には学歌ならびに聖歌指導が行われ、法要後には世界の舞台でご活躍されている「ヴェアサンタマラ印度舞踊研究所」のシャクティーさんと研究所の方々より、インド舞踊が奉納され、約680名が参加いたしました。



### ◆◆法然上人御聖日行事◆◆

年に6～7回、法然上人のご命日（25日）には、朝の音楽法要・昼休み時間の中庭法然上人像前法要と課外活動団体による奉納演奏を行い、礼拝室では写経会を開催しております。

真剣な面持ちで取り組み自己と向き合う静かな時間を過ごしていただいております。筆、硯、墨汁等、用具はすべてこちらで準備いたします。保護者の皆様もお誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。



・毎月25日（授業期間中）10：00～15：30随時受付

### ◆◆第64回 春の寺院参拝「還愚の会」◆◆

毎年、春期と秋期の2回、法然上人ゆかりの地等を巡る「還愚の会」を実施しています。

春期「還愚の会」は、5月20日（日）に「佛教大学の歴史を巡る」という企画をしたところ9名の参加者がありました。京都市左京区鹿ヶ谷にあります安楽寺・法然院を参拝し、午後からは「ALL佛大パレードー佛教大学100周年カウントダウン2012.10.23ー」に参加し、佛教大学開学の地であります知恩院へ参拝しました。各寺院をゆっくりと拝観・散策し、ご講話に耳を傾けました。



じゅうかい え

### ◆◆佛教大学授戒会開筵◆◆

9月7日（金）から9日（日）まで、嵯峨釈迦堂清凉寺（京都市右京区）に於いて佛教大学授戒会を開筵。

伝戒師の森山清徹先生（仏教学部教授）、説戒師の笹田教彰先生（仏教学部教授）、山極伸之学長統括のもとで実施いたしました。

2泊3日の短い期間でしたが、日常の雑踏から離れた静かな道場において、参加者は戒を授かることの意義や人間としての生き方について、体験を通じて思慮しつつ過ごされました。

最終日の正授戒では伝戒師より戒牒が授与され、成満となりました。

【成満者数】 合計61名（男性30名・女性31名）＝通学生（26名）・通信生（34名）・教職員（1名）

※感想文の一部を「白道」第32号（平成25年3月14日刊行）において紹介いたします。



### ◆◆第65回 秋の寺院参拝「還愚の会」◆◆

秋期「還愚の会」は、11月11日（日）に岡山県美作 誕生寺・本山寺の参拝を企画したところ29名の参加者がありました。誕生寺に於いては御上人の御講話を拝聴し、参加者全員で御詠歌の奉納をさせていただきました。午後からは本山寺で自由参拝をした後、佛大バスにて帰路につきました。



しゃくそんじょうどう え

## 釈尊成道会

釈尊のおさとりを讃える「釈尊成道会」を、12月7日（金）に常照ホール（成徳常照館5階）に於いて実施いたしました。

【次第】Ⅰ部：音楽法要 Ⅱ部：宗教教育懸賞企画授賞式 Ⅲ部：特別講演

特別講演には、山極伸之学長より「釈尊の覚りと仏教の誕生」という演題で、大変貴重なご講演をいただきました。

通信生および一般の来聴者を含め、約200名の参加者がありました。

※講演内容は『法輪（宗教教育センター選書）』第20号（平成25年3月14日発行）に掲載いたします。



ぶつみょう え

## 佛名会

過去・現世・未来の仏さまを讃え、自分自身の生活を省みる「佛名会」を12月14日（金）に礼拝室に於いて実施いたしました。また、合同企画としまして「腕輪念珠づくり」「宗教情操映画鑑賞 映画の夕べ」を開催いたしました。

### 宗教教育懸賞 企画受賞者

釈尊成道会の中で「宗教教育懸賞企画」の授賞式を執り行いました。2012年度（応募期間7月11日～10月1日）は、作文9点・書82点（漢字65点・漢字かな17点）の合計91点に渡る多数のご応募をいただきました。

選考の結果、次の方々への受賞が決まりました。〈敬称略／＊通信教育課程〉

#### 〔作文の部〕

最優秀 大西 亥一郎＊（仏教学科3回生）  
優 秀 西川 博美（歴史文化学科3回生）  
入 選 石川 千佳子＊（社会福祉学科4回生）

白井 康介（中国学科2回生）  
渡邊 奈々＊（教養講座）  
富田 友香（別科2回生）  
吉田 周平（別科2回生）

#### 〔書・漢字の部〕

最優秀 放生 米一＊（仏教学科1回生）  
優 秀 徳山 清奈（日本文学科1回生）  
松原 千恵（日本文学科2回生）  
大橋 直哉（別科2回生）  
高橋 裕典（別科2回生）  
入 選 松井 円＊（人文学科4回生）

#### 〔書・漢字かなの部〕

最優秀 小倉 直敏（社会福祉学科3回生）  
優 秀 伊藤 舞香（人文学科4回生）  
植野 繁子＊（教養講座）  
入 選 藤井 美紗（臨床心理学科2回生）  
安川 陽子＊（科目履修）  
新木 慧一（人文学科4回生）

鷹陵祭期間中（11月1日～3日）礼拝室（14号館2階）に於きまして「書の部」全応募作品の展示ならびに「作文の部」全応募作品集の展示会を行い、応募者をはじめ多数の学生・教職員にご覧いただきました。

※「作文の部」最優秀は『白道』第32号において全文を紹介いたします。  
※「書の部」最優秀・優秀作品は、表装し1年間、礼拝室へ展示し『白道』第32号において写真紹介いたします。

ぎよき え

## 法然上人御忌会

1月25日（金）は、宗祖法然上人のご命日です。法然上人のご命日に、その恩徳を偲んで営まれる法会を御忌法要といたします。

この「御忌（ぎよき）」という言葉は、もともと天皇や皇后の忌日法会（命日に勤められる法要）を意味していましたが、大永4（1524）年、後柏原天皇より詔があり、以来、法然上人の忌日法要を「御忌法要」と呼ぶようになりました。

【日時】 1月25日（金） 11時45分～12時15分 ・礼拝室（14号館2階）

しゃくそんねほん え

## 釈尊涅槃会

涅槃会は、お釈迦さまがお亡くなりになられたと伝えられる日（2月15日）に、その時のありさまを描いた涅槃図を掲げて追慕の念を表す法要です。

涅槃とは、本来、あらゆる煩惱を滅して心の静まった「さとり」の状態をさします。釈尊は、成道（さとりを開き仏となること）以来、涅槃の境地にあったわけですが、肉体がある以上さまざま苦痛が伴いました。釈尊はその苦痛をもものともせず「涅槃」の状態を保ち続けましたが、その肉体の消滅をもって、完全なる「涅槃」の状態に入られたのです。

釈尊涅槃会は、釈尊がいかに煩惱を滅し、人間のあるべき理想を実現された人物であるのかをしのび、それを私達が自覚する会でもあります。

【日時】 1月31日（木） 11時45分～12時15分 ・礼拝室（14号館2階）



青谷文具（鹿浜館1階） 定価の1～2割引きにて販売。  
よく売れるのは「ルーズリーフ（100枚入）」（190円）

## ～ 教員紹介 ～

大学の先生を身近に感じていただく企画として、2012年度の各学部の学生支援担当主任（別科は別科主任）で、教育後援会事業にもご尽力をいただいている先生方にアンケートへのご協力をお願いいたしました。

### アンケート項目

- ①専門分野 ②研究課題 ③学生への Message ④最近感動した話（うれしかった話）  
⑤お気に入りの食べ物（お奨めの食べ物）⑥私のパワースポット ⑦保護者の方へ一言  
※ ④以降は自由回答のため、未記入の先生もいらっしゃいます。ご了承ください。

### 仏教学部 大西 磨希子先生

- ①仏教美術史・東洋美術史
- ②浄土教美術研究・中国仏教美術に関する研究・敦煌芸術の研究
- ③美術作品もまた一つの歴史的遺物であり、単独で存在するものではなく、必ずや背景となる歴史、思想、文化の中で生み出されています。関連する文字資料なども手がかりにしつつ、作品の背景に隠された歴史文化や、作品にこめられた当時の思想を読み解いていくところに関心があります。
- ④最近、以前に執筆した辞典項目「三千院」の校正をしていた時のこと。三千院が現在の大原の地に落ち着く前、14世紀ころ船岡山の東麓に壮麗な堂舎を構えていたとの一文にはっとしました。船岡山とは、いうまでもなく佛教大学からほど近い、あの船岡山です。執筆当時はまだ東京に住んでいたため、特に何も意識していなかったのですが、あそこにあったのかという驚きと感動を覚えました。
- ⑤冷凍うどん。おいしくて便利なので大抵冷蔵庫に入っています。薬味はネギの他に、梅干しとワカメを入れたり、お揚げをグリルで焙って刻んで入れたりすることが多いです。
- ⑥家、でしょうか。
- ⑦ゼミでの様子を見ていますと、学生同士で遅刻しないように声を掛け合ったり、教育実習での体験を聞いたりなどしています。時に歯がゆく感じることもありますが、学生自身それぞれに自覚をもってやっているようで頼もしく感じています。もし大学でのご様子など、何か気にな

ることなどございましたら、気軽に大学にお問い合わせいただければと思います。

### 文学部 持留 浩二先生

- ①アメリカ文学・文学批評理論
- ②J.D. サリンジャー・認知科学と文学の関係・進化心理学と文学の関係
- ③インターネットの普及やグローバル化する経済の波が押し寄せ、今かつてない程に英語の重要性が高まっています。インターネット上の情報の85%以上が英語の情報だと言われてますし、年々欧米の企業と提携する日本企業数は増え続けています。そのような状況の中、ビジネスにおいても文化的な生活を営む上でも英語が使えることは大きな武器となっているのです。英語力を身につけるといことはそう容易いことではありませんが、時間さえかければ絶対に力はつきます。決してあきらめずに熱意を持ち続けて地道に努力を重ねていって下さい。何か手助けできることがあれば、何でも言って下さい。
- ④フェイスブックを通して知らない四国の大学生から、僕が書いた論文を読んでずっと考えてきた問題が解けたというメッセージをもらったことです。自分の論文なんて誰も読んでないだろうと思っていましたが、そのメッセージを読んでとても励みになりました。
- ⑤すがきやラーメン。もし明日地球が滅亡したら、最後に食べたいのがすがきやラーメンです。





若い人たちにとって、明るい未来の見えにくい社会であることは歴然としていますが、その中であっても自分の生き方を見つけられるような人になってもらえるよう、「気づきのきっかけ」を与えられる存在になりたいと願っています。保護者の方のご理解とご協力をお願いします。

社会福祉学部 **芳野 俊郎 先生**

- ①福祉開発論・地域経済論・健康福祉ビジネス論・NPO論・中小零細企業論
- ②地域中小零細企業群による産業クラスター再生戦略の検討、地場・伝統産業・一次産業型地域おこし主体によるスモールビジネスの革新的起業事例の研究
- ③日本国憲法前文の理念をかみしめつつ、25条生存権や26条教育権、27条勤労権等の社会権を見極め、92条「地方自治の本旨」に基づく平和型地域『福祉自治』システムの構築について、共に考えていこう。また、地域フィールドワーク―商店街や個店の調査や京都市内での伝統産業などの住民型展開への参加、さらには市内近隣の山里地域でのむらおこし活動への参画など―に取り組み、地域人とのコミュニケーション能力を深め、福祉ニーズの根幹を“息づかい”と“地域の匂い”とともに体感しよう。

保健医療技術学部 **菅野 圭子 先生**

- ①老年期作業療法学・認知症状の治療、予防に関わる作業療法
- ②アルツハイマー型認知症者はなぜ徘徊をするのかに関する研究・MCIに対する認知症予防リハビリテーション効果に関する研究
- ③高齢化社会に突入し、作業療法の対象となる人も様々な疾患、重症度と多岐に渡るようになってきました。また、医療・福祉制度も年々変化し、求められる役割も複雑になってきました。しかしながら、高齢者に対する作業療法の基本は、どのような疾患を患っていても、人生の終盤までその人らしく、質の高い生活を過ごすことであり、そのために役立つ作業療法を提供することだと考えています。

- ④実家の梅の大きな枝が、強い風で折れてしまったかのように倒されていたのですが、その後倒れたままグングン成長しているのを見た時
- ⑤石川県金沢市郷土料理の治部煮・蓮蒸し、富山県郷土料理の昆布メ、京都の和菓子いろいろ
- ⑥上賀茂神社
- ⑦保健医療技術学部の学生は、全員長期の病院実習等を体験するなど楽しい事ばかりの4年間ではないと思いますが、教員一同学生が人間的にも成長できるよう支援したいと考えています。

別科 **伊藤 真宏 先生**

- ①浄土宗学・日本仏教文化史
- ②法然思想の解明と法然関係文献の発掘  
浄土宗歴代、特に三祖良忠の思想研究  
日本仏教における信仰受容の研究
- ③法然上人の思想や文献、和讃など日本仏教歌謡の研究をしています。自分の知らない、しかし確かに歴史上で起こった事実を自ら解明することは、実にエキサイティングです。知りえた事実は自分の生きる力となります。混迷の社会にあって、念仏で人々に救いをもたらせた法然思想には、人生における迷いや社会を生き抜くヒントが詰まっています。「知りたい」欲求を掻き立て、研究を通して生きる指針を確立しましょう。
- ⑦別科（仏教専修）では、ご存知のように、浄土宗大本山清浄華院内に設置される佛教大学浄山道場において、道場長を先頭に、指導員、大学の関係部署、教員もともに一丸となって、混迷な現代における、檀信徒をはじめあらゆる人々の救いの要請に対応できる僧侶を養成すべく、歩んでいます。学行双修で浄土宗の必要な事柄を身につけられる道場として、修了生は各方面から高い評価を得ています。現代っ子育ちの人にとっては、一面、厳しい道場生活ですが、道場生は、立派な浄土宗僧侶となることを夢見て日々精進なさっています。今後もその目的下、次代を担う浄土宗僧侶を育成してまいります。皆様のご理解とご協力をお願いします。



# 第6回佛教大学小学生俳句大賞 作品募集

テーマは自由！  
どんな俳句でもOK!

応募資格 ● 小学生  
 応募部門 ● 低学年の部(1~3年生)  
 ● 高学年の部(4~6年生)  
 応募締切 2013年 1月31日 必着

全国の小学生のみんなから俳句を募集!!

専用応募用紙、またはそれに準じた必要事項をA4用紙に明記の上、郵送にて応募してください(専用応募用紙は佛教大学ホームページからダウンロードできます)。佛教大学ホームページ内の応募フォームからも応募できます。

作品、郵便番号、住所、電話番号、名前、ふりがな、性別、学校名、学年を明記  
 ※応募いただいた個人情報につきましては「小学生俳句大賞」の実施にのみ使用させていただきます。

応募する作品は、自作で未発表のものに限り、著作権はすべて学校法人佛教教育学園に無償で譲渡されたものとします(入賞か否かに関わらず、佛教大学のホームページや出版物に作者名、学校名、学年、都道府県名とともに掲載させていただくことがあります)。  
 ※盗作、類似作品、二重投句などによる賞の取り消しがありますのでご注意ください。

賞 ■ 最優秀賞、優秀賞、選考委員特別賞、入選、佳作、学校優秀賞  
 発表 表裏2013年3月上旬、入賞作品を佛教大学ホームページ上で発表いたします。  
 ※入賞者(佳作を除く)には直接連絡いたします。

(主催) 佛教大学 (後援) 京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会

応募先: 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
 佛教大学小学生俳句大賞 係  
 問合せ先: 小学生俳句大賞 係 TEL 075-491-2141 (代)  
 E-mail haiku@bukkyo-u.ac.jp

詳しくはホームページをご覧ください  
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/haiku/>

## ご案内 佛教大学四条センター 佛教大学同窓会提供講座「人間」開講

本講座は、同窓会事業の一つとして、各分野で活躍されている同窓生を講師に招き、生涯学習の場を提供することを目的として平成15年度より行われています。今回は、サツマイモ研究一筋約50年。高校教員を定年退職後も研究を続けておられる福田豊さんによる講演です。

**入場無料** **定員 150名**

開催日時  
平成25年1月26日(土) 13時~14時30分

テーマ 「サツマイモから絆づくり」

都会でもできる芋作りから節電対策や焼き芋をはじめとした加工技術を提案し、実践しています。芋を通じて地域と学校、福祉施設等を紡ぐ活動のお話です。

講師 福田 豊 (ふくだ ゆたか)  
昭和56年3月文学部史学科(通)卒業・元島根県矢上高等学校教諭

会場およびお問合せ

佛教大学四条センター  
 (〒600-8008 京都市下京区四条烏丸北東角 京都三井ビルディング4階)  
 JR「京都駅」より市営地下鉄丸丸線「四条駅」下車すぐ  
 TEL: 075-231-8004  
 (事務取扱時間: 月~土 10時~17時)  
 休館日: 日曜日・祝日・大学ならびに当センター指定日

## 次号より「保護者の声」コーナーを新設します。

保護者の皆さまからの投稿を歓迎いたします。  
 会報「紫峰」への感想(面白かった記事等)や今後取り上げてほしいテーマ、大学に対する思い、お子様に対する思いなどをお寄せください。  
 投稿は、教育後援会メール(kouenkai@bukkyo-u.ac.jp)または郵送にて、次の要領に沿ってお送りください。

## ご案内 佛教大学宗教文化ミュージアム 第18回シアター公演開催

佛教大学開学100周年企画  
「京の花街と上七軒の茶屋文化」

開催日時 平成25年1月19日(土) 14時~

出演 今井 貴美子 (大文字女将)

解説 小野田 俊蔵  
(歴史学部教授、宗教文化ミュージアム館長)

**入場無料・要事前申込**

会場およびお問合せ

佛教大学宗教文化ミュージアム  
 (〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26)  
 TEL: 075-873-3115 FAX: 075-873-3121

【お申込方法】先着130名・現在申込み受付中

「郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加人数・公演名」をご記入のうえ、次のいずれかの方法にてお申し込みください。  
 ご招待券をお送りします。万一、開催日1週間前までに招待券が届かなかった場合は、当館までご連絡ください。

- ①ハガキ ②FAX (075-873-3121)
  - ③E-mail (asia@bukkyo-u.ac.jp)
- 件名は「シアター公演申込」としてご連絡ください。

**冬期特別展示 1/27~3/17 開催**

「佛教大学の昭和30~40年代 - 「旭日昇天の勢い」と発展の時代 -」

- 文字数は400字まで。適宜編集する場合あり。
- 匿名は不可。氏名、お子様の所属学科・回生は必ず掲載とします。
- 投稿された原稿等は返却いたしません。
- 採用の連絡は、掲載をもってかえさせていただきます。
- 投稿の際には、住所・氏名・お子様の氏名・学籍番号(分かる方)・所属学科・回生を明記のうえ、「教育後援会報紫峰 保護者の声担当係」までお送りください。



中庭 キャンパス内で待ち合わせするならココ。  
 天気の良い日は皆で集まってランチタイム。

# 2012年度 秋学期 佛大カレンダー

月	日 程	事 項
1月	5日(土)	始講式・秋学期授業再開
	5日(土)～31日(木)	転学部・転学科願提出期間
	6日(日)・13日(日)・14日(祝) 20日(日)・27日(日)	秋学期補講日
	7日(月)～4月30日(火)	春学期休学または年間休学受付期間(2013年度)
	16日(水)～2月28日(木)	再入学受付期間
	24日(木)	秋学期授業終了
	25日(金)	法然上人御忌会
	25日(金)～31日(木) 31日(木)	秋学期定期試験 釈尊涅槃会
2月	1日(金)～3日(日)	一般入学試験A日程
	1日(金)～3月14日(木)	転籍受付期間
	4日(月)～9日(土)	3月卒業・修了対象者、卒業・修了口頭試問
	7日(木)・8日(金)	秋学期追試験(予定)
	上旬～下旬	短期海外語学研修(C.O.D.)
	16日(土)	特別推薦(法人系列校)・大学院修士課程・社会人修士課程・成績優秀学生修士課程・留学生修士課程(2月)・大学院博士後期課程・社会人博士後期課程・成績優秀学生博士後期課程・留学生博士後期課程・編入学(2月)・社会人1年次入学・編入学(2月)・留学生1年次入学・編入学(2月)・別科・転籍・別科入学試験
3月	2日(土)	大学院修士課程・成績優秀学生修士課程・留学生修士課程(2月) 【教育学研究科のみ】面接試験
	5日(火)・6日(水)	一般入学試験B日程
	14日(木)	善導忌
	15日(金)	留学生送別会
	18日(月)	学位記、卒業・修了証書授与式(3月卒業・修了)
	19日(火)	学内法定点検(紫野キャンパス内全域非常放送鳴動)
	21日(木)～5月15日(水)	佛教大学学資貸付金(春学期)出願期間(2013年度)
	21日(木)～5月20日(月)	佛教大学学資貸付金(春学期)出願期間(2013年度)
26日(火)～4月上旬	春学期在学生オリエンテーション(2013年度)(予定)	

## 2013年度入試日程(通学課程)

入試種別	出願期間(郵送は消印有効)	試験日・試験時間(自由選択制)	試験会場
一般入試 A日程	【郵送】1/7(月)～1/16(水) 【本学持参】1/17(木)9:00～17:00	2/1(金)・2(土)・3(日)	京都(本学)・東京・金沢・名古屋・米原・福知山・大阪・神戸・奈良・和歌山・米子・広島・高松・福岡
一般入試 B日程	【郵送】2/12(火)～2/19(火) 【本学持参】2/20(水)9:00～17:00	3/5(火) 午前 午後 3/6(水) 午前 午後	京都(本学)・名古屋・彦根・大阪・神戸・岡山
センター利用 入試(前期)	【郵送】1/7(月)～1/16(水) 【本学持参】1/17(木)9:00～17:00	センター試験 1/19(土)・20(日)	個別学力検査などは実施しません。
センター利用 入試(後期)	【郵送】2/12(火)～2/27(水) 【本学持参】2/28(木)9:00～17:00		

※ 試験会場によって、試験実施日が異なります。

佛教大学は7学部14学科へ。学科もキャンパスも、さらに充実します。

仏教学部	文学部	歴史学部	教育学部	社会学部	社会福祉学部	保健医療技術学部	別科(仏教専修)
<input type="checkbox"/> 仏教学科*	<input type="checkbox"/> 日本文学科* <input type="checkbox"/> 中国学科* <input type="checkbox"/> 英米学科*	<input type="checkbox"/> 歴史学科* <input type="checkbox"/> 歴史文化学科*	<input type="checkbox"/> 教育学科* <input type="checkbox"/> 臨床心理学*	<input type="checkbox"/> 現代社会学科* <input type="checkbox"/> 公共政策学科*	<input type="checkbox"/> 社会福祉学科*	<input type="checkbox"/> 理学療法学科 <input type="checkbox"/> 作業療法学科 <input type="checkbox"/> 看護学科(2012年4月開設)	大学院 通信教育課程

\*印は、通信教育課程を併設しています。



京都  
**佛教大学**  
BUKKYO UNIVERSITY

■入試(通学課程)に関するお問い合わせ  
Tel.075-491-2141(代) [平日/9:00～17:00]

■通信教育課程に関するお問い合わせ  
直通 Tel.075-491-0239(代) [平日・土(休曜日を除く)/9:00～17:00]

